

農林水産省新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業

「イチゴ健全種苗生産のための病害検査プログラムの構築」研究担当者

千葉県農林総合研究センター	鈴木 健 (研究総括)
千葉県農林総合研究センター	伊東 靖之
千葉県農林総合研究センター	鈴木 達哉
千葉県農林総合研究センター	吉田菜々子
千葉県農林総合研究センター	大谷 徹
千葉県農林総合研究センター	鐘ヶ江良彦
千葉県農林総合研究センター	田中 千華
国立大学法人岐阜大学流域圏科学研究センター	景山 幸二
国立大学法人岐阜大学流域圏科学研究センター	李 明珠
国立大学法人岐阜大学生命科学総合研究支援センター	須賀 晴久
(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部花・野菜技術センター	角野 晶大
(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部花・野菜技術センター	西脇 由恵
北海道空知農業改良普及センター	成松 靖
北海道空知農業改良普及センター	松井 梨絵
栃木県農業試験場	森島 正二
栃木県農業試験場	福田 充
栃木県農業試験場	山城 都
栃木県農業試験場	和氣 貴光
静岡県農林技術研究所	鈴木 幹彦
静岡県農林技術研究所	影山智津子
静岡県農林技術研究所	土田 祐大
静岡県農林技術研究所	伏見 典晃
奈良県農業総合センター	平山 喜彦
奈良県農業総合センター	西崎 仁博
奈良県農業総合センター	米田 祥二
奈良県農業総合センター	神川 諭
奈良県農業総合センター	岡山 健夫
佐賀県農業試験研究センター	稲田 稔
佐賀県農業試験研究センター	古田 明子
佐賀県農業試験研究センター	陣内 宏亮
佐賀県農業試験研究センター	伊東 寛史
株式会社 ミヨシ	小野寺清子

おわりに

本マニュアルに示した PCR によるイチゴ苗病害検査方法は、従来の方法に比べ感度、精度が格段に勝る。これにより、潜在感染苗の持ち込みによる病害蔓延のリスクは大幅に低減できるものと期待される。今後、本マニュアルを活用したイチゴ種苗病害検定技術が定着することにより、生産現場においては、病害の発生が抑制され、薬剤防除の適正化により環境負荷の低減をもたらす、生産コストが低減される。このことは、農産物に対する安心安全に寄与するものと考えられる。また、イチゴ苗病害検査が定着・普及することにより農業分野における遺伝子診断による病害検査が一般化すれば、これまで現場レベルでの活用がなされなかった遺伝子診断を利用した検査方法の普及・定着が期待できる。このため、本マニュアルが広く活用されることを願う。

最後に、農林水産省新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「イチゴ健全種苗生産のための病害検査プログラムの構築」の研究推進に参画・協力していただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

平成 24 年 3 月

農林水産省新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業
「イチゴ健全種苗生産のための病害検査プログラムの構築」
研究総括 鈴木 健（千葉県農林総合研究センター）

本マニュアルに関する問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター

〒266-0006 千葉市緑区大膳野町 808

電話番号：043-291-0151(代)

ファクス番号：043-291-5319

※本誌から転載・複製を行う場合は、千葉県農林総合研究センターの許可を受けてください。

※本誌に掲載された試験研究データは論文等未発表のものが含まれますので、取り扱いには留意願います。また、本誌内容の使用に際しては、下記に連絡をお願いします。

連絡先

千葉県農林総合研究センター 生産環境部生物工学研究室

鈴木 健

〒266-0006 千葉市緑区大膳野 808

TEL 043-291-9533 (ダイヤルイン)

E-Mail: t.szk62@pref.chiba.lg.jp

「イチゴ炭疽病・萎黄病・疫病感染苗検査マニュアル」

平成 24 年 3 月 発行

発行者 〒266-0006 千葉市緑区大膳野町 808

千葉県農林総合研究センター

印刷 株式会社 ハシダテ
